

牟礼岡小学校での
「市長とふれあいトーク」発言に対する検討結果等

〔開催概要〕

日時：平成19年7月24日（火） 19:00～20:00

場所：牟礼岡小学校 体育館

※ 平成19年度の地域巡回型の2回目として開催（吉田地域）

平成19年10月
鹿児島市 市民参画推進課

牟礼岡小学校での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成19年7月24日（火）19：00～20：00
場所：牟礼岡小学校体育館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	牟礼岡 男性	牟礼岡で下水道工事があると聞いているが、工事日程はどのようになっているのか。	現在、牟礼岡地区で汚水処理場の改装を検討しております、併せて上水道の連絡管整備も計画しております。平成19年度から20年度までに完成させたいと考えております。	環境局 水道局	現在、牟礼岡地区で汚水処理施設の整備を計画しており、併せて牟礼岡地区における上水道工事については、急傾斜地に布設され、維持管理上支障となっている牟礼岡送水管を公道上に布設替する工事を、平成18年度から20年度にかけて行う計画となっています。（φ200mm 総延長L=2,110m） 18年度に延長578mを布設済みであり、19年度に延長950m、20年度に延長582mを布設し、完成することとしています。 平成19年度から20年度までに完成させたいと考えています。
2	牟礼岡 女性	旧市内へ行くには、民間バスが通っているが、吉田公民館方面へはバスの便がなく、公民館の講座等を受けることが出来ない。バスの増便をお願いしたい。	この地域を走っている民間バスの業者とも話をしていますが、採算性の問題などから実現に至っていないところ です。 吉田地域だけでなく、市全体においても、交通網が不便な地域の対策を考えなければならず、運行をしてもらうような支援対策を検討しているところ です。	企画部	路線バスの運行ルート等については、バス事業者が利用者の需要や採算性等を考慮する中で、検討していくものです。 ご意見については、バス事業者にお伝えしてまいりますので、ご理解を賜りたい。

牟礼岡小学校での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成19年7月24日（火）19：00～20：00
場所：牟礼岡小学校体育館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	牟礼岡 女性	① 火事が起きた時に、合併前は始良から消防車が来ていた。今はもし火事があったらどこから消防車が来るのか。	一番近い分遣隊は吉野方面からになると思いますが、現在松元や郡山にも分遣隊を作っており、その火災箇所にもっとも近い分遣隊が出動することになっています。	消防局	鹿児島市で火災が発生した場合、火災現場に最も近い消防車が自動的に選択されて出動することになっています。 牟礼岡地区に近接する分遣隊は、吉野・吉田分遣隊です。
		② 牟礼岡地区にはスーパーや銀行のATMなどが無く、日常の生活に支障がある。吉野地区まで出て行かなければならないが、住人も高齢化してきており非常に大変である。	これらは民間が所管する施設等になるので、行政が設置を命令等することは出来ませんが、地域の活性化という観点で、各団体等に要請はしていきたいと思っています。	経済局	スーパーや商店の出店については、個々の民間事業者が検討、判断をされるものであり、行政による命令や指導等にはなじまないものであることをご理解賜りたい。 ただし、それぞれの団体などには要望があったことを伝えてまいります。
4	本名町 男性	店舗等を誘致できればもちろん良いが、企業が採算性が取れないから撤退するといったことは当たり前のことである。それを自治体が設置するよう命令することはできない。	市が店舗の設置等を命令することは出来ませんが、地域の活性化のためには必要ということです。地域の活性化という観点から、地域の基盤整備を進めるため民間企業等に要請したいということです。	経済局	スーパーや商店の出店については、個々の民間事業者が検討、判断をされるものであり、行政による命令や指導等にはなじまないものであることをご理解賜りたい。 ただし、それぞれの団体などには要望があったことを伝えてまいります。

牟礼岡小学校での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成19年7月24日（火）19：00～20：00
場所：牟礼岡小学校体育館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	本名町 男性	<p>① 市内のほとんどの校区で、校区福祉協議会が設置されており活動補助金が出ているが、現在支給されている額では十分な活動ができない。無理を言っているボランティアでの活動がほとんどになってしまう。同程度の規模の喜入の校区福祉協議会では予算がたくさん確保され、様々な活動が出来ていると聞く。補助金の額について検討してほしい。</p>	<p>① 本市では、事業本体への補助金ではなく、鹿児島市社会福祉協議会へ全体的な補助を出し、その中で社会福祉協議会が各校区へ配分を行っております。 市の社会福祉協議会へは話があったことをお伝えいたします。</p>	健康福祉局	<p>① 市社会福祉協議会では、各校区社会福祉協議会に対し活動助成として世帯数×80円に基礎額15,000円を加算し補助を行っており、このことは、喜入地区においても同様と聞いています。 また、広報紙発行や子育てサロンを実施されているところには、別途助成を行っております。 補助金の金額について増額要望があったことについては、市社会福祉協議会に申し伝えました。</p>
		<p>② 小・中学校の教職員は授業以外の地域行事等に携わるため時間外勤務をしているが、時間外手当もない。こうした実態を市の教育委員会でも踏まえ、対応をしてほしい。 子どもたちの学力低下などが叫ばれ、教職員が熱心に教育に取り組めるよう適正な時間外勤務の配分をお願いしたい。</p>	<p>② 教職員の方々には、各地域の地域活動に熱心に取り組んでいただいていることに感謝をしております。 お話があったことにつきましては、県全体の問題であるので、県の教育委員会に伝えてまいりたいと考えております。</p>	教育委員会	<p>② 小・中学校においては、より地域と連携した教育活動を推進するため、教職員の方々には積極的に地域行事等へ参加していただいているところです。 このことについては、県全体の小・中学校教職員にも関わる問題ですので、市町村教育長会等を通じて県教育委員会へ伝えてまいりたいと考えています。</p>

牟礼岡小学校での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成19年7月24日（火）19：00～20：00
場所：牟礼岡小学校体育館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	牟礼岡 女性	近くの道路に大きな穴が開いていたが、どこに言ってよいかわからず連絡をしなかったところ、5、6年近く放置されていた。最近になって対応がなされたようであるが、身近なことでもすぐに相談を行えられるように、牟礼岡にも職員が常駐してくれるとよい。	出来るだけ早急な対応をするようにしているところですが、そのような状況があったことはお詫びしたいと思います。 今後も出来る限り巡回等を行い、対応をしてみたいと考えておりますが、お気づきの箇所等ありましたら、近くには吉田建設事務所がありますので、連絡をいただければありがたいと思います。	建設局	吉田地域の市道に関する業務等については、吉田建設事務所（吉田支所内）で担当しています。 道路の維持管理については、機会あるごとに巡視等を行い状況把握に努めていますが、道路の異常等にお気づきの際には、当事務所までご連絡いただきたいと思います。 現地の状況等を調査の上、速やかに対応させていただきたいと考えています。
7	牟礼岡 女性	現在巡回バスが火曜日と土曜日に運行しているが、火曜日はまだ商店等も開いていない朝早くの運行であり、土曜日行きが昼前、帰りは夕方という運行状況であり、使い勝手が悪い。せめて週にあと一便ほしい。	これまでも地域住民から要望があり、バス会社へは要望を伝えてきたところですが、再度要望を伝えてまいりたいと考えております。 また、行政としても市内の交通不便地を抽出し、対策を検討してみたいと考えております。	企画部	ご意見については、運行サービス等の見直しを検討する際に参考にさせていただきたいと思います。
8	牟礼岡 女性	バスの行き先が宮之浦団地行きとなっており、市民は牟礼岡団地のことをほとんど知らない。バス会社に相談したらシステムの変更に多額の費用がかかるということできないということだった。 行き先名を牟礼岡団地行きに名称変更をしてもらうよう、市からも働きかけてほしい。	ご要望があったことについては、バスを運行している民間会社に伝えてまいりたいと考えております。	企画部	ご要望については、バス事業者にお伝えしたところですが、事業者によると名称変更に多額の費用がかかり、現時点での早期の名称変更は難しいとのことでした。ご理解を賜りたいと思います。

牟礼岡小学校での「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成19年7月24日（火）19：00～20：00

場所：牟礼岡小学校体育館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
9	牟礼岡 女性	① 乳幼児の医療費について、東京などでは窓口では支払わずに済んでいた。現在は窓口で支払いを行い、後から帰ってくる形である。窓口での医療費の無料化を検討してほしい。	① 乳幼児の医療費助成につきましては、今年から対象を就学児前の子どもまでに拡大したところ。自治体の裁量で決める部分ですが、全国にも誇れるものであると考えております。 支払方法については、県にも強く要望をしているところですが、県の財政も逼迫しており、現在のところ困難であるとのこと。です。	健康福祉局	① 乳幼児医療費助成は、子育て支援のための重要な効果的施策であると考えていることから、今年度から助成対象年齢を小学校就学前までに拡大したところ。この制度は、県の補助事業として県からの補助金を財源に事業を実施しており、助成内容や助成方法も県の基準を基にしているところ。このようなことから、現物給付についても、県の制度として実施していただけるよう、これまでも県に要望してきたところ。本年3月から、受給者の利便性の向上を図るために、医療機関の窓口で受給者証を提示するだけで助成金申請書を提出する必要がない「自動償還方式」に助成方法を変更しましたが、現物給付の実施については、ひきつづき県に要望をしまいたいと考えています。
		② 小学校の教員からは、学校の紙代も年度末になると足りないと聞いています。もう少し教育の分野に予算を多くしてほしい。	② 限られた予算をどのような分野に配分するかについては、自治体の裁量であるところですが、出来るだけ実情に応じた予算配分をしていきたいと思っております。	教育委員会	② 現在の厳しい財政状況や、児童生徒数が減少傾向にあるなかで、学校予算の大幅な伸びは困難な状況にありますが、今後とも各学校の実情に沿った配当に努めてまいりたいと考えています。 また、非常時や緊急事態が生じた場合等については、しかるべき対応をとることとしています。